

第5回 FISIM 検討委員会 議事概要

1. 日時 平成17年4月28日(木) 16:00～18:00

2. 場所 中央合同庁舎第4号館 共用第3特別会議室(226室)

3. 出席者

(FISIM 検討委員会委員)

井原委員長、作間委員、佐々木委員、高木委員、林委員、藤井委員

(常時出席者)

日本銀行調査統計局統計企画担当大森、国際局国際収支統計担当山口

(経済社会総合研究所)

香西経済社会総合研究所長、荒井総括政策研究官、西村総括政策研究官、法専総括政策研究官、杉田総務部長、百瀬分配所得課長、二上国民資産課長、広川地域・特定勘定課長

4. 議事

(1)前回の議論を踏まえて

(2)課題への対応について

(3)その他

5. 配布資料

資料 2-1 FISIM の再推計値等

資料 2-2 第4回 FISIM 検討委員会議事録

○議事概要

1. 日本銀行の産出額（資料「2-1」Ⅳ参照）

事務局より、日本銀行の産出額を「コスト＋国庫納付金＋配当金」で把握した計数の紹介を行った。

【委員等からの意見等】

- ・EU 規制に従うとすれば、中央銀行の産出をコスト積み上げ方式で把握するのは適切。
- ・EU 規制の「中央銀行の産出は金融仲介機関の中間消費とする」という取り扱いについて疑問がある。金融政策を政府類似のサービスと考えた場合、最終項目とするのが適切ではないか。
- ・国際基準が EU 基準であるのであれば、それで特段問題はない。
- ・配当金は少額であるので、排除したほうが良い。
- ・国庫納付金が「直接税」として取り扱われているかどうか確認して欲しい。

2. FISIM の再試算値（資料「2-1」Ⅰ参照）

（1）前回からの変更点

- ・2005 年 3 月に日本銀行より公表された最新の資金循環統計を用いた。

（2）結果

- ・引き続き 1980 年代については、参照利子率が運用利子率を上回る状況となった。

（以 上）